

計画事業番号	00522	事務事業名	中小企業者等融資事業	担当部署	経済部商工業振興課	電話	4612
--------	-------	-------	------------	------	-----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市中小企業者等融資要綱			
事務事業開始年度	昭和52年		個別計画等	北広島市商工業振興基本計画(H23～)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第4章) 活気ある産業のまち (第3節) 商業の振興 (施策2) 商業経営の安定
2 対象	北広島市内に事業所・店舗を有する中小企業者の内、北海道信用保証協会の保証業種を営み、かつ市税全税目の滞納がない者
3 目的と内容	中小企業者の事業資金の円滑化を図るため、市が市内金融機関に原資を預託する。また、信用保証料の全額及び利子の一部を市が補助することにより、事業者の負担を軽減し、中小企業の育成振興を図る。
4 実施内容 (手段)	28年度まで 市内金融機関4行(北洋銀行北広島中央支店、北洋銀行大曲支店、北海道銀行北広島支店、札幌信用金庫北広島支店)に原資総額2億5千万円を預託する事により、融資枠10億円(協調倍率4倍)を確保かつ低金利での融資事業を実施。又融資を受けた事業者に対し、償還額に応じた信用保証料並びに利子の一部を補助。
	29年度 昨年度と同様に、市内金融機関4行(北洋銀行北広島中央支店、北洋銀行大曲支店、北海道銀行北広島支店、札幌信用金庫北広島支店)に原資総額2億5千万円を預託する事により、融資枠10億円(協調倍率4倍)を確保かつ低金利での融資事業を実施。又融資を受けた事業者に対し、償還額に応じた信用保証料並びに利子の一部を補助。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
市内金融機関に原資を預託し、市内の中小企業者に低利で運転・設備資金等を融資し、年度末に当該年度償還額に応じた信用保証料の全額補助と当該年度支払い利息の1%分の補助を行う。	市内金融機関に原資を250,000千円預託。 融資総額は年間1,177,640千円、件数150件 利子補給総額16,429,002円、件数462件 保証料補給総額13,330,245円、件数450件	市内金融機関に原資を預託し、市内の中小企業者に低利で運転・設備資金等を融資し、年度末に当該年度償還額に応じた信用保証料の全額補助と当該年度支払い利息の1%分の補助を行う。	市内金融機関に原資を預託し、市内の中小企業者に低利で運転・設備資金等を融資し、年度末に当該年度償還額に応じた信用保証料の全額補助と当該年度支払い利息の1%分の補助を行う。	市内金融機関に原資を預託し、市内の中小企業者に低利で運転・設備資金等を融資し、年度末に当該年度償還額に応じた信用保証料の全額補助と当該年度支払い利息の1%分の補助を行う。

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とするが、預託原資の協調倍率変更等で貸付枠全体の拡充について検討する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			279,809		269,594		282,456		282,456	
事業額	直接事業費	国支出金								
		道支出金								
		地方債								
		その他特財	250,000		250,000		250,000		250,000	
		一般財源	29,809		19,594		32,456		32,456	
	① 合計	279,809		269,594		282,456		282,456		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.15	0.25	0.15	0.25	0.15	0.25	0.15	0.25	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,260	1,125	1,260	1,125	1,260	1,125	1,260	1,125	
総事業費①+④			282,194		271,979		284,841		284,841	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①融資実行件数	目標値	100	125	125	125
		実績値	150			
	②融資実行額	目標値	600,000	974,000	974,000	974,000
		実績値	1,177,640			
③利子・保証料補給件数	目標値	250	420	420	420	
	実績値	465				
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
【指標の定義(算式等)】	実績値					
③	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	現在の経済状況の中、中小企業者の資金の確保や新規創業者に対する開業資金の調達に対して貢献している。市内事業者の事業展開における負担軽減を図ることは長期的な視野で市内の商工業振興に寄与するものであることから、市が実施するのは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	融資実行の件数及び額、利子補給件数は増加傾向にあり目標値を大きく上回っていることから達成度は高い。中小企業の資金調達の円滑化に原資の預託は有効であり、利子・保証料の一部補給は利用促進することに繋がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	原資預託による4倍の融資率は、現状で中小企業者の資金調達額から見て必要なものであり、利子・保証料の一部補給による負担軽減は、事業者の利用促進に繋がっている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	中小企業支援策として有意義な事業であり、預託金の引き下げや補助対象経費の見直しによるコスト削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---